

## 4. 地域のニーズ（アンケート結果）

### 4.1 調査の概要

地域公共交通網形成計画の策定に向けて、より幅広い視点から、市民や利用者の現状やニーズを把握するため、平成 29(2017)年 9 月から 11 月にかけて、下記に示す 3 つの調査を実施しました。

#### A. 公共交通に関するアンケート調査

##### ① 市民への郵送配布・郵送回収

- 寝屋川市民を対象に3,244名に発送 ⇒ 1,478票を回収（回収率:45.6%）

##### ② 公共施設への調査票の据え置き

- 市内の公共施設17箇所で、調査票を据置き ⇒ 計432票を回収

##### ③ 総合センターでのヒアリング調査

- 総合センターに調査員を配置し、ヒアリング調査を実施 ⇒ 計46票を回収

#### B. バス利用者へのアンケート調査

- 市内4駅でバスを利用している2,000名に調査票を配布  
⇒ 589票を回収（回収率:29.5%）

#### C. WEBアンケート調査

- 隣接市に居住し、寝屋川市内の駅や施設を利用する方を対象に  
WEBによるアンケート調査を実施 ⇒ 500票を回収

## 4.2 地域のニーズに関するまとめ

### (1) 公共交通に関するアンケート調査結果

ふだんの移動状況をみると、鉄道やバスに比べ、自家用車を自分で運転する頻度の高い回答者が多くなっています。一方で、「自分で運転できず、送り迎えしてくれる人もいない」回答者が17.5%を占めており、今後の高齢化をふまえると、**公共交通の役割は高まる**と考えられます。また、路線バスを日常的に利用するのは回答者の8.6%となっています。

鉄道駅へのアクセスにあたっては「特に困り事はない」が57.0%を占め、最寄りバス停までは「距離が近く、利用しやすい」が73.1%であり、現状の公共交通を取り巻くサービスに対して、市民からの評価は高いことが確認できます。

一方で、地域によって、多様なニーズや意見が存在しています。

また、今後、バスでアクセスしたい行先については、病院や商業施設や公共施設が上位となっています。そのなかには、**市内外の商業施設や鉄道駅へのアクセスを求める声**も多くなっています。求められる姿としては、下記のような意見が多くなっています。

- 市内にある京阪電鉄とJRの駅を結ぶバス路線を充実してほしい
- 京阪電鉄と地下鉄・モノレールなどの駅を結ぶバス路線を充実してほしい
- 鉄道駅以外の市内外の拠点（公共施設、病院、大型商業施設など）へのバス路線を充実してほしい

## 公共交通に関するアンケート結果から得られた地域の特徴

表 地域ごとの特徴

<b>【第一中学校】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後も自動車を運転する意欲が高い回答者が多い</li> </ul>	<b>【第七中学校】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外出頻度が低い</li> <li>・ 鉄道駅へのバスアクセスが不便と感じる回答者が多い</li> </ul>
<b>【第二中学校】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の割合が高い（回答者ベース）</li> <li>・ 交通弱者※になりうる回答者が多い</li> </ul>	<b>【第八中学校】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自家用車を誰かに運転してもらっている割合が高い</li> <li>・ バスの利用頻度が高い</li> <li>・ タクシー以外に移動できる手段がない回答者が多い</li> <li>・ 鉄道駅へのバスアクセスが不便と感じる回答者が多い</li> <li>・ バス停までの距離を指摘する回答者が多い</li> <li>・ 路線バスの運行本数が少ないと感じる回答者が多い</li> </ul>
<b>【第三中学校】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通弱者※ になりうる回答者が多い</li> <li>・ 鉄道の利用頻度が高い回答者が多い</li> </ul>	<b>【第九中学校】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外出頻度が低い</li> <li>・ 交通弱者※ になりうる回答者が多い</li> </ul>
<b>【第四中学校】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の割合が高い（回答者ベース）</li> <li>・ 外出頻度が低い</li> <li>・ 自家用車を誰かに運転してもらっている割合が高い</li> <li>・ 今後も自動車を運転する意欲が高い回答者が多い</li> <li>・ 交通弱者※ になりうる回答者が多い</li> <li>・ 鉄道の利用頻度が高い回答者が多い</li> <li>・ タクシー以外に移動できる手段がない回答者が多い</li> <li>・ 鉄道駅へのバスアクセスが不便と感じる回答者が多い</li> <li>・ 路線バスの運行本数が少ないと感じる回答者が多い</li> </ul>	<b>【第十中学校】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の割合が高い（回答者ベース）</li> <li>・ 自家用車への依存が大きい回答者が多い</li> <li>・ 今後も自動車を運転する意欲が高い回答者が多い</li> <li>・ バスの利用頻度が高い</li> </ul>
<b>【第五中学校】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通弱者※ になりうる回答者が多い</li> <li>・ 鉄道の利用頻度が高い回答者が多い</li> </ul>	<b>【友呂岐中学校】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後も自動車を運転する意欲が高い回答者が多い</li> <li>・ 鉄道の利用頻度が高い回答者が多い</li> </ul>
<b>【第六中学校】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後も自動車を運転する意欲が高い回答者が多い</li> <li>・ 鉄道の利用頻度が高い回答者が多い</li> <li>・ バスの利用頻度が高い</li> <li>・ バス停までの高低差を指摘する回答者が多い。</li> </ul>	<b>【中木田中学校】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の割合が高い（回答者ベース）</li> <li>・ 今後も自動車を運転する意欲が高い回答者が多い</li> <li>・ バスの利用頻度が高い</li> </ul>

※：「自分で運転できず、送り迎えしてくれる人もいない」回答者



図 中学校区図

## (2) バス利用者へのアンケート調査結果

ふだんの移動状況を見ると、バス利用者については、57.3%が、週に3～4回以上、利用している状況となっています。また、「自分で運転できず、送り迎えしてくれる人もいない」回答者が38.4%を占めており、今後の高齢化をふまえると、**公共交通の役割は高まる**と考えられます。

鉄道駅の利用にあたって「特に困り事はない」が50.0%、最寄りバス停までは「距離が近く、利用しやすい」が78.1%、鉄道とバスの乗り継ぎでは「特に困り事はない」が57.6%を占め、現状のバスサービスに対して、バス利用者からの一定の評価がされています。

一方で、地域によって、多様なニーズや意見が存在しています。

また、今後、バスでアクセスしたい行先については、病院や商業施設や公共施設が上位となっています。そのなかには、**市内外の商業施設や鉄道駅へのアクセスを求める声**も多くなっています。求められる姿としては、下記のような意見が多くなっています。

- 市内にある京阪電鉄とJRの駅を結ぶバス路線を充実してほしい
- 鉄道駅以外の市内外の拠点（公共施設、病院、大型商業施設など）へのバス路線を充実してほしい

表 地域ごとの特徴

地域や駅		アンケート結果の特徴
鉄道駅	京阪萱島駅	・運行本数が少ない ・駅とバス乗り場(降り場)が遠い
	京阪寝屋川市駅	・駅へのアクセスについて、特に困りごとはない ・鉄道とバスの乗り継ぎに待ち時間が発生する
	京阪香里園駅	・駅へのアクセスについて、特に困りごとはない ・鉄道とバスの乗り継ぎに待ち時間が発生する ・バス待ちのベンチがない
	JR寝屋川公園駅	・運行本数が少ない ・鉄道とバスの乗り継ぎに待ち時間が発生する ・バスに関する情報提供が少ない
中学校区	第四中学校	・運行本数が少ない ・乗り継ぎに料金が発生する。
	第五中学校	・運行本数が少ない ・乗り継ぎに料金が発生する。
	第六中学校	・バス停まで高低差があり、利用しづらい
	第七中学校	・運行本数が少ない
	第九中学校	・バス停まで距離があり、利用しづらい
	第十中学校	・バス停まで高低差があり、利用しづらい
	友呂岐中学校	・乗り継ぎに料金が発生する。
中木田中学校	・バス停まで距離があり、利用しづらい	

### (3) WEBアンケート調査結果

市外からの利用が多い施設は、京阪香里園駅、イオンモール四條畷、ビバモール寝屋川などの商業施設のほか、関西医科大学香里病院が挙げられます。

鉄道駅では、バスが利用しやすいことを理由に京阪寝屋川市駅や京阪香里園駅を利用している回答者が多くなっています。また、京阪香里園駅では、市外からの約37.1%がバスを利用してアクセスしています。**寝屋川市内の駅利用に関しては「特に困りごとがない」**との回答者が最も多く37.5%~50.0%を占めています。ただし、**一部の回答者からは駅周辺の道路渋滞と道路の狭さを指摘する声**もみられます。

その他の主な施設では、自家用車が来訪手段の中心となっています。また、**寝屋川市内の施設利用についても「特に困りごとがない」**との回答者が最も多く58.0%~67.9%を占めています。ただし、**一部の回答者からは駅周辺の道路渋滞と道路の狭さを指摘する声**がみられます。

関西医科大学香里病院へは、市外の利用者のうち、22.2%がバスを利用しているほか、イオンモール四條畷やアル・プラザ・香里園では、バスでアクセスしやすいことを利用理由に挙げる回答者も9.4%~11.8%存在しています。